

鶴岡研修を終えて・・・

薬学研究科修士一年 森脇拓郎

2010年10月28日に私達は山形県鶴岡市にある鶴岡タウンキャンパスに行ってきました。まず、私達は最先端のバイオテクノロジーを用いて生体や微生物の細胞活動を網羅的に計測・分析し、コンピュータで解析・シミュレーションして医療や食品発酵などの分野に応用している先端生命科学研究所に行きました。初めに富田勝所長に先端生命科学研究所の概要および各部屋の案内をしてもらいました。そこで特に私が驚かされたのはキャピラリー電気泳動質量分析計（CE-MS）を用いたメタボローム解析でした。その研究室には網羅的に分析するために多くのMSが置かれていたのです。この部屋で私はこの研究所は世界中で最先端を行く研究が行われているということを実感しました。また写真を載せることはできませんが、先端生命科学研究所で行われている



慶應義塾大学院ベンチャー「スパイバー社」も見せていただきました。私はこの会社で働く菅原潤一さんに夜に行われた懇親会で詳しくお話を聞くことができ、今後の発展にとっても胸が膨らみました。2日目には慶應義塾大学先端生命科学研究所のほか、東北公益文科大学大学院、致道ライブラリーが設置されているキャンパスセンターに行

きました。この2階にある致道ライブラリーは、生命科学を中心とした自然科学系の資料、公益学に関係する人文・社会科学系の資料を所属した図書館で、慶應義塾・鶴岡市・東北公益文科大学の3者で共同運営するもので、学生、研究者に限らず、だれでも利用できるそうです。今回の研修は2日間というとても短い期間でしたが最先端の研究と同時に鶴岡の素晴らしさを知ることができ、大変有意義な研修でした。この研修で感じたことを今後の糧にしていきたいと思います。機会があったらまた、鶴岡キャンパスに行きたいと思いました。本当にありがとうございます。

